

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	地域観光団体等支援事業	会計	一般会計	事業No.	467	施策順No.	11-040
		事業種別	政策・重点	予算科目	7-1-4-10-11		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	観光課		
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動			事業期間	開始	16	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	地域の観光団体 地域の観光団体への参画事業「補助金:遠山郷観光協会他7団体」 具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	観光団体・事業者:数	7	7	7	8	7		
	意図	育成することにより魅力ある観光地に仕上げる							
	対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績		23年度目標
		誘客につながった団体・事業数	7	7	7	8	8	7	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	地域の観光団体の自主的な運営によりピーターの確保につながってきた。22年度は特に全国獅子舞フェスティバルを開催したことにより大幅な観光誘客につながり、魅力ある観光地をPRできた。								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	地域内の観光拠点の事業者及び団体等の育成、支援(補助)を行うことで魅力ある観光地に仕上げ観光誘客の増加を目指す。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	地域観光団体等の支援 1 遠山郷観光協会補助金 (1) イベントの開催及び協力 さくらまつり、しらびそヒルクライム、チャレンジマラニック、峠の綱引き、霜月祭り など (2) 誘客宣伝事業の実施 (3) 観光案内 (4) 総会、理事会の開催 2 天龍峡観光案内所補助金 (1) 観光案内 (2) 宿泊案内 3 第13回全国獅子舞フェスティバル実行委員会補助金 (1) フェスティバルへの参加 (2) 獅子舞文化の情報発信及び活用回数 4 その他団体への補助金	補助を行った団体数 1(1) イベント数 (2) 回数 (3) 案内人数 (4) 回数 2(1) 案内人数 (2) 案内件数 3(1) 参加団体 (2) 情報発信回数 4 団体数	8団体 1(1) 19回 (2) 9回 (3) 4,917人 (4) 5回 2(1) 13,870人 (2) 395件 3(1) 44団体 (2) 12回 4 5団体
	23年度実施計画	地域観光団体等の支援 1 遠山郷観光協会補助 (1) イベントの開催及び協力 さくらまつり、しらびそヒルクライム、チャレンジマラニック、峠の綱引き、霜月祭り など (2) 誘客宣伝事業の実施 (3) 観光案内 (4) 総会、理事会の開催 2 天龍峡観光案内所補助 (1) 観光案内 (2) 宿泊案内 3 その他団体への補助金	補助を行った団体数 1(1) イベント数 (2) 回数 (3) 案内人数 (4) 回数 2(1) 案内人数 (2) 案内件数 3 団体数

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		8,830	8,830	3,830		
計(A)		8,830	8,830	3,830		
正規職員所要時間						
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			0			
トータルコスト A+B			8,830			

4 事業に対する市民や議会の意見

それぞれの地域の観光イベントに対する支援(補助金)要望がある。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	事業者等が観光消費額等を高める活動をする	施策の成果指標又はムトス指標	観光消費額(億円) 経済自立度(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	・地域に根ざした地域の観光事業者や団体が自主的に経営することで、積極的な情報発信や趣向を凝らしたイベントの開催によってリピーターの確保につながってきている。		
	後期に向けた課題	・それぞれの地域の観光事業者や団体が地域の枠を越えて連携することが重要である。着地型の周遊コースの造成が課題である。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	・資金的な支援を中心に取り組んできた。 ・運営についてはそれぞれの観光事業者や団体に任せることで、主体的な取り組みが行われてきた。		
	後期に向けた課題	・行政からの補助金に頼ることなく自立した経営ができるような仕掛けが必要である。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	・元気づくり支援金などの補助金を活用。		
	後期に向けた課題	・自立した経営ができるような仕掛けが必要である。 ・各種補助金の活用。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・会費負担等により適正な費用負担を行っていただけている。		
	後期に向けた課題	・補助金の削減による自立した地域経営を目指す。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	①遠山郷観光協会、天竜峡温泉観光協会などそれぞれの団体において知恵や汗を出し合い、地域の発展や観光誘客数増に向けた主体的な経営を行っていただいた。 ②行政は地域のそれら団体を育成支援することで、飯田市全体の観光振興の発展に努めてきた。		
	後期に向けた課題	①それぞれの主体の主体的な経営から自立的な経営となるような仕掛けが必要である。 ②それぞれの主体の取り組みを広く情報発信すること。		
全体を通じて	4年間の振り返り	・資金的な支援を行ってきたことで観光事業者や団体は安定的な経営ができてきた。		
	後期に向けた課題	・今後も資金的な支援は必要であるが、そのことによる事業のマンネリ化を招くことは避けなければいけない。 ・また、各地域にはさまざまな観光事業者や団体があることから、現在の団体に未来永劫にわたった補助金とならないよう一定の線引きも必要となる。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------